



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社

コード番号 9014 URL <https://www.shinkeisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞下 幸人

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計・連結会計担当課長 (氏名) 内藤 智喜 TEL 047-389-1125

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,075	△19.7	△157	—	△13	—	△596	—
2020年3月期第3四半期	16,281	0.0	2,784	△2.1	2,951	△1.5	2,083	△0.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △44百万円 (-%) 2020年3月期第3四半期 2,418百万円 (5.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△54.38	—
2020年3月期第3四半期	189.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	101,019	43,684	43.2
2020年3月期	100,929	44,059	43.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 43,684百万円 2020年3月期 44,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	12.50	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,622	△17.3	△491	—	△272	—	△976	—	△88.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
連結業績予想の修正については、本日（2021年1月28日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	11,023,228株	2020年3月期	11,023,228株
2021年3月期3Q	45,553株	2020年3月期	45,225株
2021年3月期3Q	10,977,911株	2020年3月期3Q	10,978,169株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより景気が大幅に悪化し、経済活動の回復に向けた兆しは見られるものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは引き続き安全管理体制の更なる充実を根幹とし、全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化および業務の効率化に努めたものの、営業収益は13,075百万円(前年同期比19.7%減 3,206百万円)、営業損失は157百万円(前年同期は営業利益2,784百万円)、経常損失は13百万円(前年同期は経常利益2,951百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は596百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,083百万円)となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

運輸業においては、地域社会のインフラとしての役割を果たすため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置を可能な限り講じつつ事業の継続に努めました。

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、松戸新田駅の土留め壁補強工事並びにみのり台駅の駅舎耐震補強工事をすすめたほか、諸施設のバリアフリー化として前原駅および常盤平駅のホーム内方線設置工事およびホーム嵩上げ工事をすすめました。

環境負荷の低減に向けた取り組みにつきましては、8800形車両1編成でVVVFインバータ装置を更新したほか、車内照明のLED化をすすめました。

営業面につきましては、千葉ロッテマリーンズや千葉ジェッツふなばしのラッピング電車の運行、果物狩りなどのイベントや1日乗車券の販売を実施し、旅客誘致と増収に努めました。このほか、お子さまが描いた絵で装飾した「新京成ドリームトレイン」を運行し、地域社会の活性化と新たなファンの獲得に努めました。

バス事業では、環境や高齢者などに配慮した車両へと10両代替し、貸切用車両も1両代替いたしました。また、新松戸線において南流山駅まで路線を延伸したほか旅客需要に対応したダイヤ改正を実施し、前原線では新津田沼のバス折返し施設を飯山満へと移転するなど、利便性の向上と業務の効率化および事業の安定化に努めました。

しかしながら、外出自粛や在宅勤務の増加などにより輸送人員が減少し、営業収益は9,178百万円(前年同期比25.6%減 3,160百万円)、営業損失は1,434百万円(前年同期は営業利益1,405百万円)となりました。

不動産業

不動産賃貸事業では、新たな収益源確保の取り組みとして、野田市桜の里二丁目および柏市大津ヶ丘一丁目の土地を取得し賃貸を開始したほか、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の維持向上に努めました。

以上の結果、営業収益は2,458百万円(前年同期比0.2%減 5百万円)となり、営業利益は1,221百万円(前年同期比4.2%減 54百万円)となりました。

その他

その他(コンビニ事業等)では、各種セール、ギフト等のイベントへの取り組みを強化するなど、更なる利便性と収益力の向上を図りました。また地域貢献の一環として、新たに地域産品の販売を開始したほか、沿線の農園が野菜やフルーツを販売する「新京成マルシェ」を12月に新鎌ヶ谷駅で初めて開催いたしました。

以上の結果、営業収益は1,541百万円(前年同期比1.9%減 29百万円)となり、営業利益は35百万円(前年同期比58.1%減 49百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、有価証券の減少等がありましたものの、建設仮勘定、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ89百万円(前期比0.1%)増加し、101,019百万円となりました。

負債は、未払金の減少等がありましたものの、前受金、借入金が増加等により前連結会計年度末に比べ464百万円(前期比0.8%)増加し、57,334百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等がありましたものの、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ375百万円(前期比0.9%)減少し、43,684百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結及び個別業績予想につきましては、2020年10月29日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年1月28日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,354,752	5,608,492
売掛金	1,066,183	905,651
リース投資資産	819,071	809,704
有価証券	500,000	—
商品及び製品	42,450	48,227
分譲土地建物	665,485	626,100
原材料及び貯蔵品	482,421	571,020
その他	410,966	497,068
流動資産合計	9,341,330	9,066,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,011,210	21,601,324
機械装置及び運搬具(純額)	5,667,748	5,155,817
土地	11,785,352	12,125,338
建設仮勘定	40,216,624	40,961,782
その他(純額)	1,250,282	1,005,062
有形固定資産合計	80,931,218	80,849,325
無形固定資産	839,899	660,762
投資その他の資産		
投資有価証券	9,246,918	9,920,407
繰延税金資産	245,544	209,801
退職給付に係る資産	185,892	184,848
その他	138,981	127,956
投資その他の資産合計	9,817,337	10,443,014
固定資産合計	91,588,455	91,953,101
資産合計	100,929,786	101,019,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,046,685	710,017
短期借入金	2,982,500	4,624,800
未払金	4,308,961	569,768
未払法人税等	438,321	6,620
前受金	33,160,524	35,558,528
賞与引当金	480,105	218,364
その他	2,647,323	3,043,541
流動負債合計	45,064,422	44,731,641
固定負債		
長期借入金	5,594,400	6,094,750
繰延税金負債	748,496	1,031,053
退職給付に係る負債	3,335,909	3,372,706
その他	2,126,606	2,104,328
固定負債合計	11,805,413	12,602,838
負債合計	56,869,835	57,334,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,522	4,774,522
利益剰余金	29,602,863	28,676,558
自己株式	△84,546	△85,283
株主資本合計	40,228,780	39,301,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,961,650	4,487,425
退職給付に係る調整累計額	△130,480	△104,275
その他の包括利益累計額合計	3,831,170	4,383,149
純資産合計	44,059,951	43,684,888
負債純資産合計	100,929,786	101,019,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益	16,281,946	13,075,018
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	12,617,636	12,347,896
販売費及び一般管理費	879,414	884,302
営業費合計	13,497,051	13,232,199
営業利益又は営業損失(△)	2,784,894	△157,180
営業外収益		
受取利息	142	36
受取配当金	75,126	69,089
持分法による投資利益	144,638	104,323
その他	33,789	60,487
営業外収益合計	253,698	233,937
営業外費用		
支払利息	85,951	89,124
その他	840	941
営業外費用合計	86,792	90,066
経常利益又は経常損失(△)	2,951,800	△13,309
特別利益		
工事負担金等受入額	182,320	15,150
持分変動利益	6,792	—
特別利益合計	189,113	15,150
特別損失		
固定資産圧縮損	182,320	15,079
減損損失	—	363,978
特別損失合計	182,320	379,058
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	2,958,592	△377,218
法人税、住民税及び事業税	791,913	123,546
法人税等調整額	83,651	96,201
法人税等合計	875,564	219,747
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,083,028	△596,966
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	2,083,028	△596,966

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,083,028	△596,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	288,841	502,659
退職給付に係る調整額	36,467	26,204
持分法適用会社に対する持分相当額	10,283	23,114
その他の包括利益合計	335,593	551,979
四半期包括利益	2,418,621	△44,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,418,621	△44,986
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	12,323,441	2,389,021	14,712,462	1,569,483	16,281,946	—	16,281,946
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	16,372	75,899	92,271	885	93,156	△93,156	—
計	12,339,813	2,464,920	14,804,734	1,570,368	16,375,102	△93,156	16,281,946
セグメント利益	1,405,004	1,275,206	2,680,210	84,654	2,764,864	20,030	2,784,894

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
あります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	9,162,120	2,372,376	11,534,497	1,540,520	13,075,018	—	13,075,018
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	16,780	86,576	103,356	563	103,919	△103,919	—
計	9,178,900	2,458,952	11,637,853	1,541,083	13,178,937	△103,919	13,075,018
セグメント利益 又は損失(△)	△1,434,906	1,221,126	△213,779	35,485	△178,293	21,112	△157,180

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
あります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行ってござ
います。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上
額は、当第3四半期連結累計期間においては、363,978千円であります。